取 扱 説 明 書

QuickStart™ ラミネーター
H420

はじめに

このたびはGBCパウチラミネーターをお買求めいただき、
ありがとうございました。
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき,
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

目　次

お客様へ

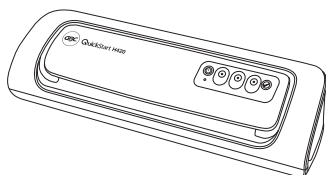
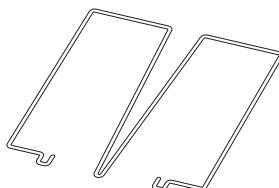
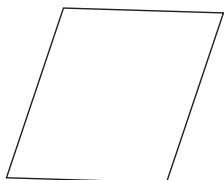
★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。
また使用しない時は、電源プラグを抜いてください。

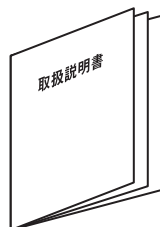
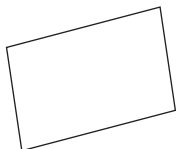
★本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)、接触すると褐色に変色することがあります。
本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れないようにマット等の保護材を使用してください。

1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

マシン本体

QuickStart H420

サポートトレイ

クリーニングペーパー

取扱説明書（本書）

取扱説明書

ラミネーター使用時の注意書き

※お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

2・ご使用上の注意

表示の意味

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告

危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。
※思わぬけがをする恐れがあります。

マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを“オフ”にして取り除いてください。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

本体内部へのエアスプレイの使用は絶対にしないでください。
※発火する恐れがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

⚠ 注意

本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。

絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れないでください。
※火災の恐れがあります。

ラミネーター操作中はそばを離れないでください。
また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。

絶対に本体の上に物を置かないでください。
※本体上面は高温になります。

本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。

冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

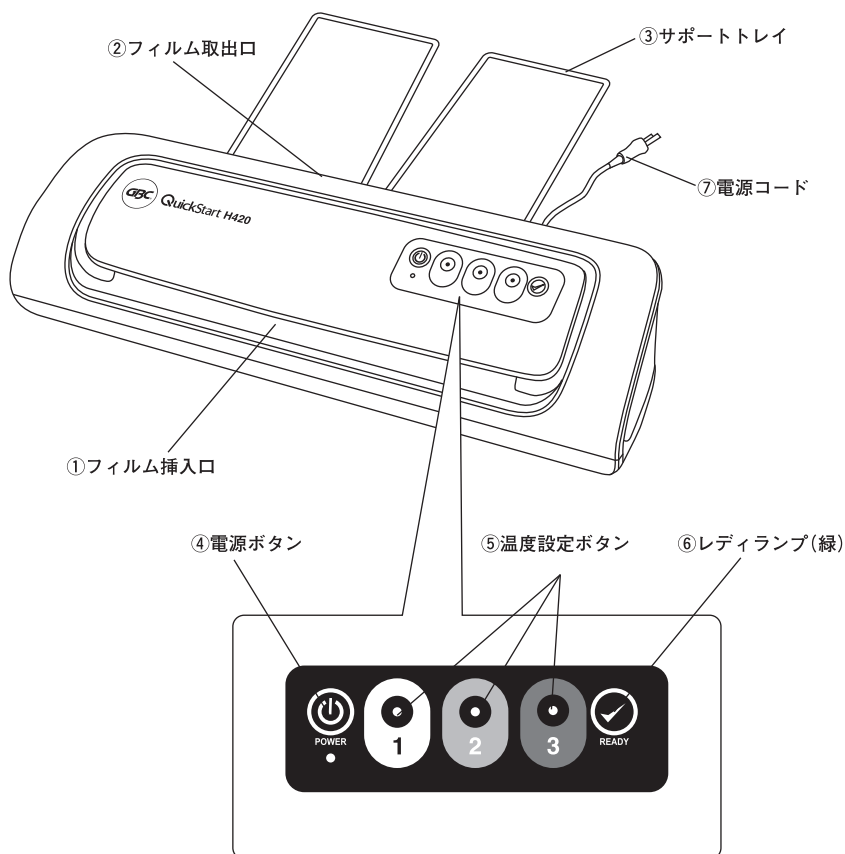
本機に水などをかけないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。

電源は必ずAC100V 電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

3・各部の名称と働き

②フィルム取出口
③サポートトレイ
GBC
QuickStart H420
⑦電源コード
①フィルム挿入口
④電源ボタン
⑤温度設定ボタン
⑥レディランプ（緑）
POWER
1
2
3
READY

①フィルム挿入口
パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。

②フィルム取出口
ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。

③サポートトレイ
フィルム取出口に出てくるラミネートされたものを支えるトレイです。使用時はサポートトレイをセットしてください。

④電源ボタン
このボタンを押して、電源をオン・オフします。オンの時はボタン(緑)が点灯します。
使用しない場合は、必ずオフにしてください。

⑤温度設定ボタン
このボタン(1、2、3)を押して、ラミネート温度を設定します。レディランプ(緑)が点灯するまで、設定したボタンが点滅します。

⑥レディランプ(緑)
ウォームアップが完了すると、レディランプ(緑)が点灯して、ブザーがラミネート可能な状態を知らせます。

⑦電源コード
マシン本体背面にある電源コードを、必ずAC100V のコンセントへ差し込んでください。

4・ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。

ラミネートするもの

★ このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユポ等はラミネートしないでください。

★ 和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。

★ 可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。

★ 再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。

★ フィルムを含めて厚さ1.0 mm以上になるものはラミネートしないでください。

★ インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

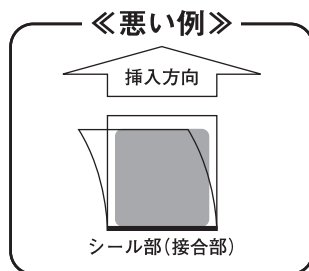
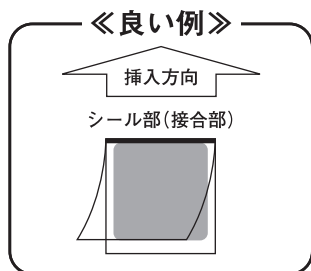
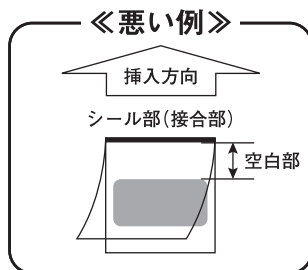
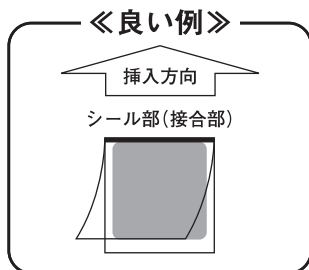
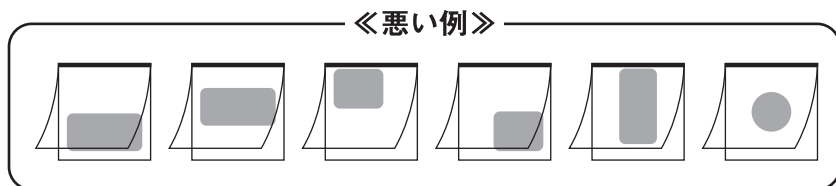
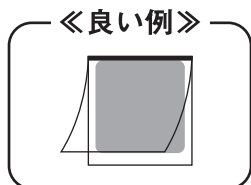
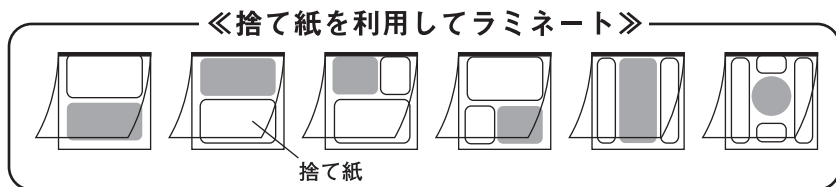
★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

ラミネートするとき

重要　**ご使用になる前に必ずお読みください。**

★ パウチフィルムは必ずシール部(接合部)からラミネーターに入れてください。
絶対にパウチフィルムのシールされていない側から入れないでください。詰まりの原因となります。

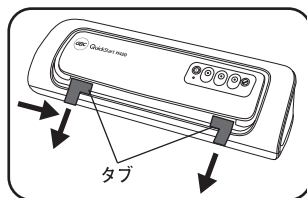
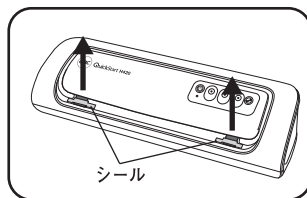
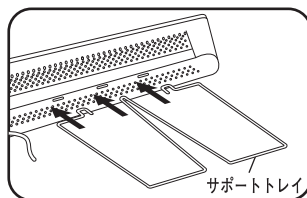
≪良い例≫

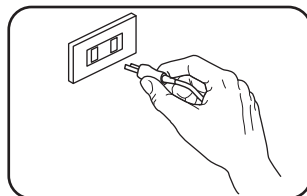
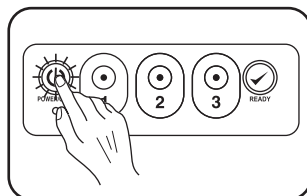
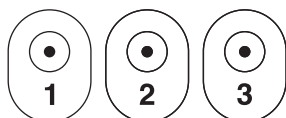
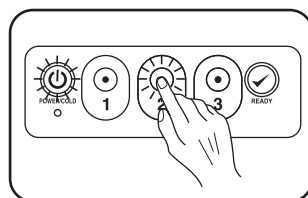
≪悪い例≫

★ パウチフィルムのシール部(接合部)奥まで詰めて加工物をセットしてください。
挿入方向に空白部分があるとフィルムがカールして詰まりの原因となります。

★ 加工物のサイズに合ったフィルムをご使用ください。
※フィルムサイズに合わない加工物は、捨て紙を使用してラミネート加工してください。
※フィルム先端部に余白部分を作らないようにしてください。
余白部分が多い場合はフィルム内部の糊がにじみ出て、糊がローラーに付着して故障の原因となります。
※凹凸のあるものはラミネート加工には適しておりません。故障の原因となります。

★　ラミネートする前に、パウチフィルムをカットしないでください。詰まりの原因となります。捨て紙を使用してラミネートした後、カットしてください。

⚠ 注意

間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。（有償修理対象となります。）

5・ご使用の前に

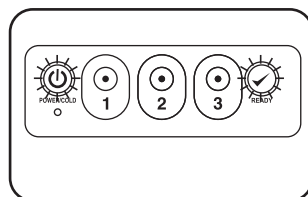
使用する前に、マシン保護のために付いているシールとタブを必ず外してください。

<サポートトレイのセット>
付属されているサポートトレイをフィルム取出口のスリットに差し込んでセットしてください。

6・操作方法

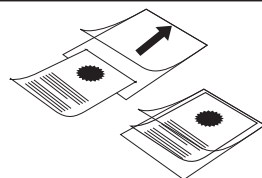
①電源プラグをコンセント(100V)に差し込んでください。

②電源ボタンを押してください。
電源ボタン(緑)が点灯します。

③使用するフィルムの厚さに合わせて、温度設定ボタンを押してラミネート温度を設定してください。

温度設定目安表

フィルム厚 / 加工物	100μm	150μm
コピー用紙	1	2〜3
カタログ	1〜2	3
写真	1〜2	3

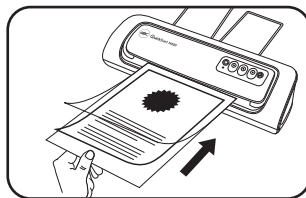
※温度が高すぎるとフィルム詰まりの原因となることもありますので、数字の低い設定でテスト加工して、適切な温度設定を確認してください。

★設定温度を下げる時は、温度は急に下がりませんので、15分以上放置してから加工してください。

④約1〜2分後に、レディランプ(緑)が点灯し、ブザー音がラミネート可能なことを知らせます。
※設定温度により時間は異なります。

重要

★ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。

★レディランプ不点灯時は、フィルムを通さないでください。

★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

⑤シールされた側からフィルムを通し、フィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。

⚠ 警告

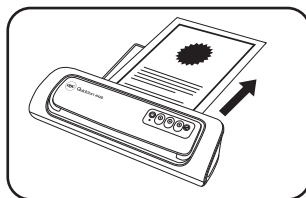
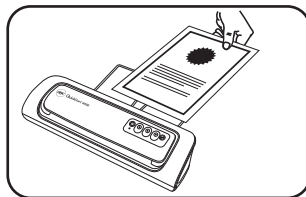
マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

⚠ 警告

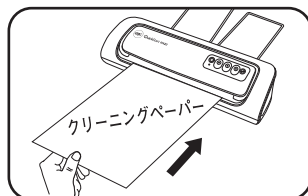
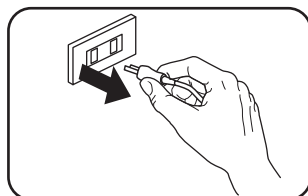
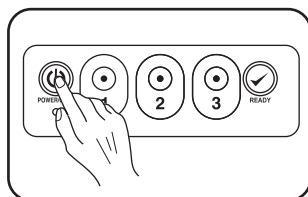
ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを押し、“オフ”にして取り除いてください。

⚠ 注意

間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

⑥パウチフィルムがマシン背面のフィルム取出口から出てきます。

⑦ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。約1分間冷却して完了です。

連続ラミネートをする場合

★連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

⑧ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。（温度が高い状態の時に実施してください。）

⑨ローラークリーニングが終りましたら、電源ボタンを押して電源を切ってください。
また、安全のためにコンセントから電源プラグを抜いておいてください。

ローラークリーニング

★ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。

★クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙（画用紙程の厚さ、200g/m^{2}程度の厚さの用紙）を使用してください。

★二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

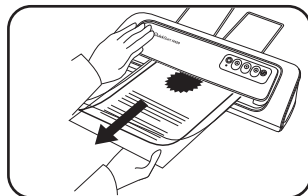
オートシャットオフ機能

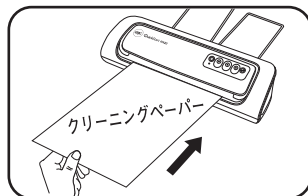
★電源が入ったまま30分以上ご使用されない場合は、自動的に休止します。
再度ご使用になる場合は電源ボタンを押して電源を入れ直してご使用ください。

フィルム詰まりトラブル解消方法

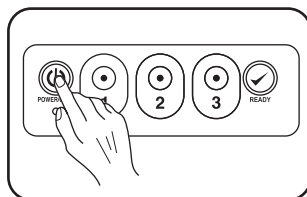
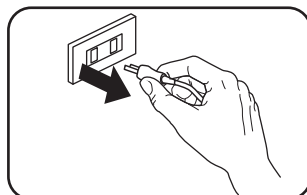
重要

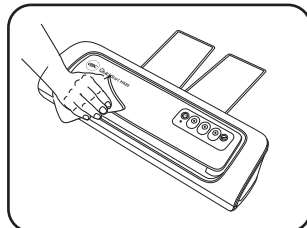
★ラミネート加工時に、フィルム取出口から加工されたものが出てこない場合は、全てのフィルムが機械内部に引き込まれる前に、下記のような処置をしてください。

①片方の手でマシンを押さえながら、詰まったフィルムを引き出してください。
ローラーの回転は停止して、フィルムを引き出すことができます。引き出された後、自動的にローラーは正転を再開します。

②必ずローラーをクリーニングしてください。

12ページのローラークリーニングの説明を参照。

7・お手入れ方法

①電源ボタンを押して、電源をオフにしてください。

電源ボタン(緑)が消灯します。

②電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。

③やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。

★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。
※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

警告

ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

8・こんな時は

現　象	原　因	対処法（参照ページ）
電源が入らない（パワーランプがつかない）	◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ ◇電源ボタンが“オン”に入ってますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。（9ページ） 電源ボタンを押してください。電源ボタン（緑）が点灯していることを確認してください。（9ページ）
ホットラミネートができない	◇レディランプ（緑）が点灯していますか？ ◇クーラーの冷気が直接当たっていませんか？	温度設定ボタンを押して温度を設定して、レディランプ“緑”が点灯するまでお待ちください。（10ページ） クーラーなどの冷気から離してご使用ください。（3ページ）
ラミネートフィルムがはがれる	◇紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？	紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。（6ページ）
ラミネートされた加工物が波を打っている	◇ラミネート温度が高すぎます。	ラミネート温度の設定を下げてください。（9ページ）
ラミネートされた加工物の表面が曇っている	◇ラミネート温度が低すぎます。	ラミネート温度の設定を上げてください。（9ページ）
ラミネートフィルム表面が汚れる	◇ローラーのクリーニングをしていますか？	同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。（12ページ）
ラミネートフィルムが取出口から出てこない	◇パウチフィルムがラミネーターの中に詰まっています。	フィルム挿入口側から詰まった加工物を引き出してください。（13ページ）

9・製品仕様

商品名	QuickStart™ ラミネーター
	H420
品番	GLMH420
サイズ(W) x (D) x (H)	495 x 320 x 118 mm（サポートトレイ付）
質量　kg	2.9 kg
電源	AC 100 V、50/60 Hz
定格消費電力	1200 W
最大ラミネート幅	A3（317mm）
最大ラミネート厚	1.0 mm
最大使用フィルム厚	150 μm
ラミネート速度	47cm / 分（50Hz）、56cm / 分（60Hz）
ラミネート温度	104～155 ℃
加熱方式	外部加熱方式
ウォームアップ	約 1～2 分(温度設定１)

保証とサービス

★保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。

★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

（1） 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
- a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
- c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
- d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
- e 本書の掲示のない場合。
- f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- g 本機は専門処理業者様の業務用途には適しません。

（2）ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。

（3）本書は日本国内においてのみ有効です。

（4）本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

（5）補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間です。
同等機種との交換により修理対応とさせて頂く場合もございます。

修理メモ

お客様相談窓口　：野田サービスセンター　　04-7129-2135

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

キ　リ　ト　リ　線

パウチラミネーター　保証書

品　　名	QuickStart™ ラミネーター H420
品　　番	GLMH420
保証期間	1年
シリアルNo.	

★お買上げ日	年　　月　　日
★お　客　様	ご芳名 ご住所 TEL　　　（　　　）

★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

ＧＢＣ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無償修理いたします。お買い上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	住所／店名 TEL　　　（　　　）

アコ・ブランズ・ジャパン株式会社
〒164-0012東京都中野区本町1-32-2
ハーモニータワー14F
TEL.03-5351-1801
www.accobrands.co.jp

ACCO BRANDS

個人情報のお取り扱いについて

本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間経過後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。お客様の個人情報は当社にて厳重に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託する保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。その場合は当社が厳重に管理いたしますので、あわせてご了承ください。